令和7年度

津野町国保姫野々診療所・国保杉ノ川診療所
医療事務・電子カルテシステム更新業務

仕 様 書

津野町役場

I – 1. 調達概要.....	4
1. 概要.....	4
2. 導入機器数.....	4
3. ライセンス.....	5
4. 機器仕様.....	6
5. システム仕様.....	8
6. 導入作業（機器更新・システム導入）.....	8
7. データ移行（設定含む）.....	9
8. 過去データ参照・印刷設定.....	10
9. データ連携（検体検査・PACS（杉ノ川診療所のみ）・オンライン資格確認）.....	10
10. バックアップリカバリ検証.....	12
11. 導入スケジュール.....	12
12. 設定等.....	12
13. 機器設置.....	13
14. システム切替.....	14
15. LAN 配線工事.....	14
16. 電源工事.....	14
17. プログラム・マスタ配信仕様.....	14
18. 旧機器の移設・設定.....	15
19. 動作確認.....	15
20. 機器の撤去.....	15
21. データ消去.....	15
22. 説明会.....	15
23. 承認図及び納品物の説明.....	15
II – 1. 保守（総則）.....	16
1. 概要.....	16
2. 診療所診察時間.....	16
3. 保守時間.....	16
4. 保守体制.....	17
5. 作業場所について.....	17
6. 作業を行う機器について.....	17

Ⅱ－２	保守（ハード保守）	18
1.	ハード保守の範囲	18
2.	保守内容	18
3.	運用保守	19
Ⅱ－３	保守（システム保守）	19
1.	システム保守の範囲	19
2.	問合せ対応	19
3.	医療改正支援サービス	19
4.	レベルアップサービス	19
5.	その他	

I-1. 調達概要

1. 概要

津野町国保姫野々診療所・国保杉ノ川診療所電子カルテシステムを新たに更新するために、機能仕様書に記載した仕様を備えた機器及び各システムの導入を行うこと。

また、機能仕様書の仕様に掲げられていない機器、ケーブル、システムサポートプログラム、ソフトウェア等についても、機器及び各システムを最適かつ効果的に運用するために必要なものは完備しておくこと。

システム形態は国の指針に合わせクラウド型で提案すること。

現行の電子カルテは、仮想サーバーを構築・移行し5年間のデータ保存を考慮すること。

また、新規導入のパソコンでも現行システムが利用できるようシステム環境を構築すること。

両診療所で共同でシステム利用しているため、現在高知医療センターへ高知ハイウェイを利用して接続しているが、同回線を利用して、両診療所間を閉域な NW で接続すること。

2. 導入機器数

- (1) 新規に導入する機器の台数は下表のとおりとする。
- (2) 相当品可とされたもの（下表の相当品の欄に“○”があるもの）については、相当品の納入で構わないが仕様書記載の性能を充足すること。
- (3) 相当品不可とされたもの（下表の相当品の欄に“×”があるもの）については、相当品を不可とするが、OEM 製品、または後継品（同等品以上）であれば可とする。
- (4) 機器構成においてその他機器が必要となる場合は、下記数量に追加して必要な機器を追加して備えること

姫野々診療所

No.	装置名称	数量	単位	相当品
1	現行医事・電子カルテシステム 仮想化サーバー	1	式	○
2	電子カルテシステムサーバ用 NAS	1	式	
3	拠点間 IP アクセスルーター	1	台	○
4	リモート用アクセスルーター	1	式	○
5	バックアップ用外付 HDD	1	台	○
6	デスクトップパソコン	4	台	○

7	ノートパソコン	1	台	○
8	A3モノクロレーザープリンタ	2	台	○
9	スキャナ	1	台	○
10	杉ノ川診療所情報確認要デスクトップ	1	台	○
11	インクジェットプリンタ	2	台	○

杉ノ川診療所

No	装置名称	数量	単位	相当品
1	電子カルテシステムサーバ用 NAS	1	式	
2	拠点間 IP アクセスルーター	1	台	○
3	リモート用アクセスルーター	1	式	○
4	バックアップ用外付 HDD	1	台	○
5	デスクトップパソコン	4	台	○
6	ノートパソコン	1	台	○
7	A3モノクロレーザープリンタ	2	台	○
8	インクジェットプリンタ	2	台	○
9	スキャナ	1	台	○
10	往診用ノートパソコン	1	台	○
11	姫野々療所情報確認要デスクトップ	1	台	○

3. ライセンス

ライセンスについては以下のとおりとすること。

新規ライセンスについて

① 電子カルテシステム

姫野々診療所 5ライセンス以上、杉ノ川診療所 6ライセンス以上の調達を行うこと。

② 医療事務システム

姫野々診療所 2ライセンス以上、杉ノ川診療所 3ライセンス以上の調達を行うこと。

③ 医学辞書

電子カルテシステムと同数のライセンスの調達を行うこと。

④ デバイス CAL

電子カルテ・医療事務サーバを運用するに際し、必要となるデバイス CAL を用意すること。

⑤ ウイルス対策ソフト

ウイルス対策ソフトについては、今回本事業で構築する環境を利用する上で今後1年間必要となる全てのライセンスを含めること。

⑥ Office

今回導入するパソコンについてすべて EXCEL、WORD をインストールすること。

⑦ その他のライセンスについて

本事業で構築する環境を利用する上で今後1年間必要となる全てのライセンスを含めること。

4. 機器仕様

導入する機器は、津野町にとって5年間以上支障なく運用できる製品とすること。

下記に記載の仕様を可能な限り満たす製品を導入するものとする。

No.	装置名称	機能要件
1	現行システム用仮想サーバー1式	<ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Server 2022 Standard 以上 ・ Xeon プロセッサ E-2488 (3.20GHz/8コア/24MB) 以上 ・ メモリ 16GB 以上 ・ HDD 300GB×5 (RAID5+Hotspare) 以上 ・ UPS を付属すること
2	電子カルテシステムサーバ用 NAS 杉ノ川診療所・姫野々診療所各1式	<ul style="list-style-type: none"> ・ RAID 機能搭載 4TB 以上
3	デスクトップパソコン	<ul style="list-style-type: none"> ・ Core i5-13400 以上 ・ メモリ 8GB 以上 ・ SSD 256GB 以上 ・ Win11 Pro 64bit ・ 液晶ディスプレイ 23.8型 1920×1080 ・ マウス・キーボードを付属すること
4	ノートパソコン	<ul style="list-style-type: none"> ・ Core i5-1335U 以上 ・ メモリ 8GB 以上 ・ SSD 256GB 以上 ・ Win11 Pro 64bit ・ 画面サイズ：15.6型

5	A3 モノクロレーザープリンタ	<ul style="list-style-type: none"> ・方式 LED アレイ+乾式一成分電子写真方式 ・解像度 1,200×1,200dpi 600×600dpi 以上 ・用紙サイズ 給紙トレイ：A3・B4 縦送り、A4・B5・A5 縦送り/横送り、B6・A6 縦送り、DLT・HLT・LG 縦送り、LT 縦送り/横送り、洋長 3号横送り、角形 2号縦送り、郵便はがき縦送り、往復はがき縦送り/横送り、不定形サイズ（幅：90～297mm、長さ：148～432mm）以上
6	インクジェットプリンタ	<ul style="list-style-type: none"> ・方式 インクジェット方式 ・解像度 600×1200dpi 以上 ・用紙サイズ A4、A5、A6、B5、レター、リーガル、洋形封筒（4号/6号）、長形封筒（3号/4号）、商用 10号封筒、DL封筒、C5封筒、Monarch封筒、はがき、郵便往復はがき、L判、KGサイズ、2L判、六切、ユーザー定義サイズ（幅 89mm～216.0mm、長さ 127mm～355.6mm）以上
7	スキャナ	<ul style="list-style-type: none"> ・形式 フラットベッド型（原稿固定型） ・光学解像度（主走査×副走査）4800×4800dpi 以上 ・最大原稿サイズ A4/レター（216×297mm）以上
8	往診用ノートパソコン	<ul style="list-style-type: none"> ・Core i5-1335U 以上 ・メモリ 8GB 以上 ・SSD・256GB 以上
9	拠点間 IP アクセスルーター	<ul style="list-style-type: none"> ・インターフェイス 10/100/1000BASE-T を 1+4（スイッチングハブ）以上 ・ルーティングプロトコル IPv4/IPv6 対応 ・ファイアーウォール IP フィルタリング、URL フィルタ、SPI(Stateful Packet Inspection)、アクセスロギング(Syslog)対応 ・VPN IPsec/IPsec v3(DES/3DES/AES)、IKE(Phase1 : Main/Aggressive、Phase2:Quick)、IKEv2(IKE SA INIT 交換/IKE AUTH 交換/CREATE CHILD SA 交換)、手動鍵設定 対応

5. システム仕様

導入するシステムは、津野町にとって5年間以上支障なく運用できる製品とすること。別紙システム機能要求仕様書を可能な限り満たす製品を導入すること。

対応の可否について下記に○×△で記載すること（△はカスタマイズ内容や代替方法を提案書に記載すること）。

6. 導入作業（機器更新・システム導入）

本事業の実施に当たり必要となる作業を実施すること。実施内容は以下の通り。

（1）事業実施管理

事業の確実な実施の為、進捗及び品質等の適正な管理を行うこと。

（2）影響調査・打ち合わせ・内容検討・結果報告

必要に応じて綿密な打ち合わせを実施し、影響調査、作業範囲の確認、内容の検討等必要となる作業を行うこと。

① 統括責任者は、各業務担当SEに作業内容の徹底、指示を行うこと。

② 事前に業務にかかる影響調査を行い、業務に影響が無いよう対応すること。

③ 統括責任者は診療所担当と十分な打ち合わせを行い、実施内容、スケジュール等の調整確認を行うこと。

④ 統括責任者は各業務担当SEの実施内容を取りまとめ、内容の点検検証を行い、全体として対応が統一されているか、また問題がないことの確認を行い統合調整を行うこと。

⑤ 実施内容については、診療所の確認、承認方法で行うこと。また変更点があれば双方で協議し、担当者の確認、承認を得て対応すること。

⑥ 打ち合わせや対象漏れがないように、議事録、課題、業務対象範囲確認（対象内外の確定と合意）、スケジュールのエビデンスを残し、最終合意した内容を津野町に提出すること。

（3）システム設計

本事業はパッケージシステムの導入を行うが、パラメータの設定等、診療所と打合せ、確認を行うこと。

（4）医療事務・電子カルテシステム更新業務

① 医療事務・電子カルテシステムを更新するために必要な作業を行う事。

② 仕様書にない項目についてはその都度打ち合わせを行うこと。

（5）その他必要な作業

その他必要と想定される作業について本業務内で行うこと。仕様書にない項目についてはその都度打ち合わせを行うこと。

（6）テスト及び検証

- ① 必要なテストを実施し、作業報告を書面にて報告すること。
- ② 最終段階でテストを実施し、問題ないことを双方で確認し、診療所の承認を得ること。

(7) 作業内容及びエビデンス（証跡）の報告

- ① 実施した作業内容についてはすべてエビデンス（証跡）を残すこと。
- ② エビデンスをもとに、作業報告を行うこと。
- ③ 打合せ内容については、すべて議事録に残すこと。

(8) 障害対応

本業務の実施において、システム、データ等で障害等の不具合が発生した場合は、速やかに対応、復旧を行い、通常業務と正常な運用に影響を与えないようにすること。

7. データ移行（設定含む）

(1) データセットアップ（移行、設定）の範囲・方法

- ① 移行データの範囲は、診療所が不必要と認めない限り、既存医事システムのデータ移行を行うこと。必須項目としては下記のものとする。
 - ・患者属性情報 患者番号、カナ氏名、漢字氏名、生年月日年号、生年月日、性別
 - ・患者保険情報 保険者番号、記号、番号、枝番、開始日、有効期限、負担率、負担者番号1、受給者番号1、開始日1、有効期限1、負担者番号2、受給者番号2、開始日2、有効期限2、本人家族、特記事項
 - ・事業所 事業所名称、事業所住所、保険者名、保険者住所、資格取得日
／保険者情報
 - ・患者住所情報 郵便、電話、住所、携帯番号
 - ・勤務先情報 名称、電話、住所
 - ・患者病名情報 病名コード（病名標準コード化でセット）、開始日、終了日、転帰区分、慢性区分（病名標準コード化でセット）、病名、主病名、疑い
 - ・処方情報 レセプトデータより3か月分（用法・容量除く）について
- ② 電子カルテシステムからのデータ移行は行わないものとする。ただし、今回調達する端末全てで、参照できる環境を構築するものとする。
- ③ 移行作業は、各診療所と十分な打合せを行い、窓口業務が止まることなく、安全に稼働できることを前提とする。

(2) 事前説明

移行に伴い必要となる説明、打合せを行う事。

(3) データ及び設定移行

- ① 移行するデータは医事の移行可能項目とすること。

- ② システムのユーザーアカウント情報についてはそのまま移行せず、現状に即した形で移行、設定を行うこと。

(4) 移行検証

データ移行前と移行後において、必要な説明を行うこと。

- ① 移行するデータにおける元データの状況
- ② 移行後のデータ確認方法

(5) 移行体制

データ移行に関して、全体を管理する担当を必ず設け、以下の項目を行うこと。

- ① 移行スケジュールの作成
- ② 移行データ項目、履歴等の事前確認及び原課との調整
- ③ 移行進捗状況の確認及び調整
- ④ 診療所担当者との調整
- ⑤ 移行完了後のデータ確認方法の提示
- ⑥ 作業完了後の使用した移行データの消去確認及び徹底

8. 過去データ参照・印刷設定

今回、現行のシステムについては、以下の通りとする。

システム名称	移行	参照設定	設定端末
医療事務・電子カルテ	一部	行う	現行 CimaChart サーバを移行するため仮想サーバを構築し、利用可能な状況で保持する。新クライアントでは現行 CimaChart を参照可能にし、また印刷も可能にすること。仮想サーバーは姫野々診療所へ設置するものとし、見積費用に含むこと。また、旧サーバーの高知医療センターからの移設費用も見積に含むこと

9. データ連携（検体検査・PACS（杉ノ川診療所のみ）・オンライン資格確認）

他システム、装置とのデータ連携に関して、全体を管理する担当を必ず設け、以下の項目を行うこと。

(1) 実施内容

データ連携については、各システムとの連携が正常に行えるように必要な設定、作業、動作確認を行うこと。また、回数は記載しないが、問題がなくなるまで連携テストを行うこと。

(2) 方法

- ① 打合せ、データ連携テスト及び本番稼働スケジュールの作成
- ② 連携データの内容、スケジュール、ファイル形式、ファイルレイアウト、コード表、連携方式等の事前確認
- ③ 診療所、既存保守業者との調整
- ④ 進捗状況の確認及び調整
- ⑤ データ連携に関する資料の作成、共有（データ連携概要図の作成含む）
- ⑥ データ連携の事前検証のデータ確認、既存保守業者との結果確認
- ⑦ データ連携本稼働完了後のデータ確認、既存保守業者との結果確認
- ⑧ 既存システム側の連携にかかる費用は見積費用に含むこと

(3) 対象システム及び装置

杉ノ川診療所

No.	システム名称	メーカー	連携先
1	検体検査システム	富士通	医療事務・電子カルテシステム
2	画像管理（PACS）システム	コニカ	医療事務・電子カルテシステム
3	オンライン資格確認システム		

姫野々診療所

No.	システム名称	メーカー	連携先
1	検体検査システム	富士通	医療事務・電子カルテシステム
2	オンライン資格確認システム		

各連絡先

検体検査システム：(株) 富士通四国インフォテック 088-873-1158

画像管理システム:コニカミノルタジャパン（株）0570-011206

(4) 特記（オンライン資格確認）

オンライン資格確認システムは既に導入されているため、必要な連携設定を行うこと。また必要に応じて既存保守業者と打合せを行い、必要があれば指示書を作成、動作確認を一緒に行うなど、資格確認の連携が問題なく行えるようにすること。

(5) 特記（周辺装置）

周辺装置の導入業者は多岐にわたる為、必ず主となって連携の確認、打合せを行い、問題なくシステムが稼働できるようにすること。

10. バックアップリカバリ検証

サーバ、クライアントについて、すべての設定を完了後、バックアップを取得、イメージからの復元検証を行う事。ただし、クライアントについては、個別設定がない場合は、行わなくても構わないものとする。クラウドでシステムの提供を行う場合は不要とする。

11. 導入スケジュール

導入スケジュールについては導入決定後再度打合せを行うものとする。ただし、スケジュールの決定にあたっては津野町の判断に従うこと。

12. 設定等

クライアント及びサーバ等の設定は、津野町と協議の上、既存ネットワークと接続ができ、問題なく使えるようにすることが前提である。その上で、次の内容を充足すること。

クラウドシステムの場合はクラウド側で担保されていることを前提として下記は問わない。

(1) 運用（日次稼働運用及びバックアップ運用）

医療事務・電子カルテの運用については、以下の運用が可能であること。

① 日次運用

医療事務・電子カルテサーバの運用については、導入時に津野町と協議を行うこと。

② バックアップ運用

バックアップは電子カルテ・医事システムデータについてはクラウドセンターで管理すること。ただし、パソコンに初期設定が必要なものについてはイメージを作成し、院内のNASへ保管すること。

(2) 設定作業

導入作業については、スケジュールを組み実施する。機器の切替、クライアントへのインストールについては、営業時間中のみならず、必要に応じ土日作業及び業務時間後を含めて実施するものとするが、実際の方法、時間、スケジュールについては協議の上決定する。

(3) 医療事務・電子カルテサーバの設定

導入機器、既設機器の設定は、津野町と協議の上、問題なく使えるようにすることが前提である。津野町より現状のネットワーク・環境設定等の説明を行うので、十分な打ち合わせの後に、設定を行うこと。導入機器、既設機器のIPアドレスは別途協議の上決定すること。

以下の設定を行うこと。

- ① 導入時点での最新版ファームウェアを適用すること。
- ② OS は、構築時点の最新版 Windows Update を適用させること。
- ③ 医療事務・電子カルテシステムのインストール、設定を行うこと
- ④ ウイルス対策ソフトウェアの必要な設定を行うこと。

(4) クライアント端末設定

- ① クライアント端末において、CimaChart（現行医療事務・電子カルテ・介護請求システム）が利用できるようクライアント及びサーバに設定（プリンタ設定を含む）を行うこと。
- ② クライアントに違うユーザーが Windows ログインしても、問題なくつかえること。
JAVA 等のミドルウェアの仕様等により、ログインユーザーが違くとシステムがつかえないということがないようにすること。
- ③ その他津野町と打合せの上、共用設定に必要な作業を行うこと。

(5) クライアントマスタ（バックアップイメージ）の作成

クライアントの機器修理時等の復旧用に以下のマスタを作成するものとする。ただし、個別にすべてのイメージバックアップを取得するのであれば、マスタを作成しなくて構わない。

(6) ウイルス対策ソフトの設定

- ① 管理コンソール
サーバ、クライアントのウイルス対策ソフトについて、管理コンソールを医療事務・電子カルテサーバに設定し、管理コンソールにて、定期スキャン、リアルタイムスキャンを有効にすること。
- ② 設定
検索除外フォルダ、検索除外ファイルを設定する場合は最低限の設定にすること。ドライブ全体を検索除外フォルダ設定することは認めないこととする。
- ③ 定義ファイルの更新
杉ノ川診療所・姫野々診療所ネットワークは、ウイルス定義の取得に関してはインターネット接続可能とするので、パターンファイルを自動取得し、取得した定義ファイルを電子カルテサーバ上の指定フォルダに保存することで、今回導入するパソコンに自動で配信がかかるように設定をおこなうこと。

13. 機器設置

(1) 仮想サーバ設置

サーバの設置は、以下のとおりとすること。

- ① 姫野々診療所へ設置すること
- ② 機器積載位置については、津野町と打合せの上、決定すること。

(2) 無停電電源装置の設置及び接続

無停電電源装置を指定された位置に設置し、今回導入機器と接続すること。

(3) パソコンの設置

パソコンについては、協議のうえ指定された位置に設置すること。

(4) その他機器

協議のうえ指定された位置に設置すること。

1 4. システム切替

システムの切替は以下のとおりとする。

- (1) システムの切替は、旧サーバは高知医療センターにある状態で、新システム運用へと切替、その後旧サーバを撤去するものとし並行稼働は行わないものとする。
- (2) 切替えについては、事前に十分な説明を行い、津野町の承認を得ること。
- (3) 新サーバへの切替完了までは、津野町が指定した場所に旧サーバを仮設してもよいものとするが、本稼働時には速やかに撤去すること。

1 5. LAN 配線工事

LAN 配線は以下のとおりとする。

- (1) 既設 NW を利用してもよいが、追加で必要なものは準備すること。
- (2) CAT5e 相当以上を用いること。
- (3) サーバ、スイッチに接続するために必要な配線は全て行うこと。
- (4) 既設配線の LAN コネクタが痛んでいた場合は取り換えること。

1 6. 電源工事

電源設備（供給電源、電源コンセント）については、事前に十分な調査を行い、機器を使うに十分な電源容量を確保、配線し使用すること。工事が必要な場合は申し出ること。

1 7. プログラム・マスタ配信仕様

新薬マスタ、診療報酬改定に対応したプログラムにつて、オンライン経由で医療事務・電子カルテシステムサーバに配信されるようにすること。オンライン用の回線は津野町が用意するので、事前に必要な要件を提示すること。

18. 旧機器の移設・設定

現在高知医療センター内で利用している医療事務・電子カルテサーバについて、新システム稼働後指定の場所に移設すること。移設にあたり必要な設定はすべて行うこと。

19. 動作確認

最終的に今回導入した、サーバ、システム等が正常に動作することを確認すること。正常に動作しない場合は、既存のネットワーク機器保守業者と協議し、安全・正常に稼働するように協力すること。

20. 機器の撤去

既設の機器及び各場所に設置している旧機器を津野町指定の場所（杉ノ川診療所・姫野々診療所内）に撤去すること。廃棄は津野町が別途発注し行うので、本調達に含まないものとする。

21. データ消去

津野町が別途発注し行うので、本調達に含まないものとする。

22. 説明会

説明会は、本事業により導入した機器、システムを有効に活用する上で必要となる以下の説明を行うものとする。

No.	項目	対象職員	備考
1	・医療事務・電子カルテシステム ・旧システム参照方法 ・その他必要事項	医師・看護師・診療 所事務職員等	
2	・サーバ・ネットワーク管理関係	診療所担当者	

23. 承認図及び納品物の説明

納品物の目的及び内容は以下のとおりである。よく理解した上で納品を行うこと。

(1) 体制図（再委託承認願いを含む）

目的：権限と責任と能力を明確化

内容：営業、SE、CEを含め、命令系統、担当が明確にわかるもの

承認条件：津野町がその人員の質、体制を検討し、妥当であると判断すること

(2) 打ち合わせ議事録

目的：議事録の保管により、双方の打ち合わせ結果を共有しトラブルを防ぐ。

内容：議事録については、抽象的ではなく完結かつ具体的に記載する。発言者と内容を明確に記載し提出すること。

時期：打ち合わせ（立ち話を含む）を行い、方法が決まるたびに作成すること。

承認条件：津野町が妥当であると判断した時

(3) テスト仕様書及びテスト結果成績書（予定・実績）

目的：津野町の安定稼働を第一とする。

内容：テストの目的、方法、結果を簡潔に記載すること。テスト項目を事前に説明し、承認を受け、実施した内容とその結果を記載し報告すること

時期：サーバの設定前後、データ移行後、クライアント設定後、その他津野町が指定した時

承認条件：津野町が妥当であると判断した時

(4) 操作・運用マニュアル（ソフトウェア等）

目的：S Eに連絡することなく日々安定に稼働させることを目的とする。

承認条件：津野町が妥当であると判断したとき。

II - 1. 保守（総則）

1. 概要

診療所業務を行うための重要なシステムであり、安定稼働を第一とすることから、障害保守のみならず、障害を未然に防ぐためにも予防保守も定期的に行うこと。また、運用サポートにおいても、安定稼働に有効であることから積極的に行うこととする。

2. 診療所診察時間

診療所の診察時間は、平日AM8：30～PM5：15である。

3. 保守時間

保守時間は診療時間内とする。但し診療時間外での対応が必要な場合については、津野町の承認のもと行うこと。保守については常に連絡が取れる体制をとること。

なお、診療時間外での対応とは以下である。

(1) 障害対応により、翌日の業務に影響が出る恐れがある場合

(2) 法改正、プログラム変更、バージョンアップ作業等により、翌日の業務に影響が出る恐れがある場合

(3) バッチ作業等により、翌日までに完了する必要がある場合

4. 保守体制

保守体制は以下のとおりとすること。

(1) 保守を行う人員は、高知県内の事業所に在籍していること。

(2) 機器を外部ネットワークと接続して行う遠隔保守は、津野町が事前承認した業者、場所、設備等の指定条件の下でしか行わないものとする。必要なインターネット回線は津野町で用意するので、必要な要件を提示すること。

(3) 専用窓口を設置し、各種問い合わせや障害発生時の対応等について一元的で行うこと。ただし、緊急時には直接対応の行える担当者と連絡がとれる体制とすること。

(4) 専用窓口とは別に、総合的な相談ができる人員を高知県内の事業所に在籍、配置すること。このレベルは、システム、ハード、ソフト、ネットワーク等業務全般において総合的なサポートを行える人員とする。

5. 作業場所について

保守、サポート等を行うために、業者が作業を行う場所、条件は以下の通りとする。

(1) オンライン保守

津野町が承認した場所、条件においてのみ可とする。

(2) 現地保守

杉ノ川診療所・姫野々診療所とする。なお、作業の際はスケジュール調整を行うこと。

6. 作業を行う機器について

業者が開発等により作業を行うための機器については津野町では用意しない。従って、機器が必要な場合には業者にて準備を行うこと。なお、津野町のネットワークとの接続は不可である。保守作業については、今回調達する端末より行うことを可とするが、津野町職員が作業を行うための端末でもあるため、津野町の業務を優先する。よって、津野町の端末の使用については津野町の許可を得ること。

II-2 保守（ハード保守）

1. ハード保守の範囲

以下を対象とすること。

杉ノ川診療所

No.	装置名称	数量	単位	相当品
1	医療事務・電子カルテシステムサーバ	1	式	○
2	拠点間 IP アクセスルーター	1	台	○
3	リモート用アクセスルーター	1	式	○
4	デスクトップパソコン	5	台	○
5	ノートパソコン	2	台	○
6	A3 モノクロレーザープリンタ	2	台	○
7	姫野々診療所情報確認要デスクトップ	1	台	○

姫野々診療所

No.	装置名称	数量	単位	相当品
1	医療事務・電子カルテシステムサーバ	1	式	○
2	拠点間 IP アクセスルーター	1	台	○
3	リモート用アクセスルーター	1	式	○
4	旧システム用仮想サーバー	1	式	○
5	デスクトップパソコン	3	台	○
6	ノートパソコン	1	台	○
7	A3 モノクロレーザープリンタ	3	台	○
8	杉ノ川診療所情報確認要デスクトップ	1	台	○

2. 保守内容

(1) 障害保守

障害があった場合、天災など特別な事情を除き、障害時保守については、システムの安定稼働及び復旧が第一であるため、障害内容がシステムの安定稼働にすぐに影響を及ぼさないものである場合は、診療時間外にて対応し正常な状況にもっていくこと。また、影響がでる場合には、早急に対応を行うこととする。

3. 運用保守

サーバ機器、UPS、ネットワーク機器等、ハードを運用するにあたり必要となるハード及びハードに付帯するシステム、ソフトウェアに関するQA対応、設定変更対応等の支援を行うこと。

II-3 保守（システム保守）

1. システム保守の範囲

システム保守は以下を対象とすること。

(1) 以下のシステムについて保守を行うこと。

NO.	システム名称	数量
1	医療事務・電子カルテ	1式

今回導入するソフト、ライセンス、メンテナンス料等、システムを動かすために必要となるもの全てについて支援すること。

(2) 全てのライセンス・メンテナンス料等（5年間で必要となる使用料・メンテナンス料を提示すること。見積書には5年間で算出し、1年間の平均額で記載）

(3) 既存機器・システム・ネットワークの保守は、既存の保守業者が行うので、今回導入する機器、ネットワークの障害対応及び津野町の求めに応じた設定変更対応等についてのみ保守を行えばよいが、障害時には必ず連携をし問題の解決にあたること。

2. 問合せ対応

操作、運用、システム環境変更に対する問い合わせとする。

3. 医療改正支援サービス

法定改定時に、医療改正に伴うシステム対応の説明、医療改定適用の支援、改良改正に伴うQ&Aを必要に応じ行うこと。

4. レベルアップサービス

システムのレベルアップ版が出た場合、情報提供及びレベルアッププログラム提供を行うこと。

5. その他

津野町で必要なデータと判断した場合は、打合せを行い、対応に協力すること。

以上